



# わたしが描く

# 未来のスケッチ

## 夢に向かって一直線!



県立三本木高校2年  
むらだて 村館 さくらさん (左)  
県立三本木高校付属中2年  
むらだて 村館 あすかさん (右)

私たちは十和田市子ども会ジュニアリーダーズに所属し、子ども会の研修会やキャンプの企画、運営などを行っています。参加する子どもたちからは、気軽に話すことができるちょっと上のお姉さんとして接してもらえると嬉しいですね。子ども会でも参加する人が年々減るなど、身近なところで将来を変える人たちが減っているのを感じます。活性化に向けての活動はいろいろありますが、参加する人を増やし、今よりも明るく、にぎやかな十和田市になってほしいです。

将来はともにアナウンサーになりたいと思っています。そのためにも今は勉強を頑張りたいです。

## 嗚呼、涙と笑いの じゅんちゃん一座



じゅんちゃん一座  
さとう たかこ 佐藤 貴子さん

最近、街の活性化が進む一方で、高齢者が気軽に集える場所が減り、元気な高齢者が街に出ることが少なくなったと感じています。

私は、高齢者が自分の望む場所で、自分らしく暮らすための一助になればと思い「じゅんちゃん一座」の一員になりました。

一座では、涙あり、笑いありの寸劇を通して、大人から子どもまで多くのかたに、認知症の正しい知識を伝える活動をしています。

地域全体で高齢者に対する理解を深め、高齢者が安心して暮らせる“結びつき”を再生し、世代を超えた交流でにぎわう十和田市になることを願っています。

## 10年後にはプロサッカー選手に



藤坂小学校6年  
まつだ そら 松田 空良くん (左)  
まつだ せら 松田 星良くん (右)

「5歳でサッカーを始めました。中学では、自分のしたいプレーが、したい時にできるようになりたいです。大会がない今は、体力作りの時期。夢は日本代表選手になること。夢をかなえて人の力になりたいです」(空良くん)

「練習の送迎をしてくれる家族に感謝しています。ライバルは兄。双子だから能力は同じはずで、負けるのは努力をしていないということ。中学、高校では、強豪校を倒して全国大会に行くのが目標です」(星良くん)



## このまちで子どもを育てる



主婦・ヨガインストラクター  
にいやま なほ 新山 奈穂さん  
にいやま えいた 新山 瑛太くん(右・5歳)  
にいやま しょうた 新山 晶太くん(左・2歳)

6年前の冬に十和田市に来ました。妊娠中で、新しい環境に不安もありましたが、外出すると「何か月?」「気を付けて歩くんだよ」と地域のかたが気軽に声をかけてくれ、温かいかたが多いまちだと思いました。このまちで子どもを産み、育て、守るべき大切な存在が増えて、幸せも倍増しています。

1年半前にヨガ教室を始めました。ヨガをすると、疲れ切っている時でも心と体がスッキリします。たくさんのかたがたに、ヨガで自分の中の優しさ、強さ、美しさを引き出して、心身ともに元気に、健康になってもらいたいですね。

## 自分で作り 自分で売る



農業  
はたやま ゆきひこ 畑山 幸彦さん (左)  
はたやま ちはる 畑山 千春さん (右)

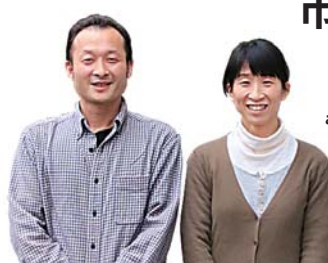
3年前に専業農家として独立しました。今は夫婦で農協などから指導を受け、勉強しては工夫する繰り返しです。先輩方からは特に土づくりが大事と教えられ、肝に銘じています。

妻には「いつも畑にいて、気付くと野菜に話しかけている」と笑われますが、夢中です。目標は、この場所で自信を持って農業をやって、地域の一員として力になること。

たまの休みには、好きなラグビーをしたり、子どもたちと遊んで楽しんでいます。

若い農業者たちで仲間づくりをしながら勉強する環境がもっと広がって、十和田のよい野菜のPRが強化されるといいですね。

## 市民に愛される 十和田湖に



もりた商店 (十和田湖畔休屋)  
もりた かずなり 森田 一成さん (左)  
もりた ようこ 森田 陽子さん (右)

合併する1年前に帰ってきました(一成さん)。

当時と比べ、休屋の店の数は半減、震災後、さらに加速している状況です。それに伴い、人の流出も続いています。十和田湖観光の充実はもちろんですが、消防団などの地域活動を維持していくためにも、休屋で1年を通して働くことができる雇用の創出が求められます。

十和田湖は青森・秋田・岩手の都市を結ぶには最も適した場所。気軽に遊びに来て楽しんでもらうために地域のかたがたと、家族が遊べる場所の整備や体験型観光の充実、十和田神社などの歴史の掘り起しを行っています。地元のかたに愛される十和田湖になってほしいです。

## 互いに協力して よりよいまちに



北里大学獣医学部獣医学科3年  
平成26年度北里会執行委員会  
委員長 さくらだ はるか 櫻田 晴子さん

大学執行委員会の委員長として、ストリートフェスタなどイベントの手伝いをしたり、市役所と大学との話し合いの場に参加したりしています。

十和田の人と接する機会が多い私にとって、十和田の人は温かく楽しい人が多いと思います。大学生は活動範囲が住んでいる所の周辺になってしまいがちです。もっと外に出る機会を増やす仕掛けがほしいですね。そういう意味でも、B-1グランプリは一つのきっかけになると思います。私たちもボランティアとして参加し、関わっていきたくです。お互いに協力し合えば、もっとよいまちになると思います。

## 文化の薫り高い 十和田市に



十和田フィルハーモニー管弦楽団  
事務局  
みやうち たかし 宮内 尚さん

小学校の教員を退職し、無農薬の野菜作りに汗を流す日々も2年目となりました。

十和田フィルとひがしのリコーダーカルテットでは、すてきな仲間たちと合奏を楽しんでいます。十和田フィルのほか、北里大学交響楽団、ジュニアフィルと、オーケストラが3団体もあり、仲良く協力して活動しています。

昨年、市文化協会の事務局に入り、各団体の文化水準の高さに驚かされました。市民文化祭には62ものサークルと40数人の個人参加があり、自分たちの力で企画・運営しています。

今後も多様な文化の薫り高い十和田市であってほしいと願っています。